

<第174号>

# 事務局だより

平成29年10月10日発行

現在の会員数

合計 209名

(男性 147名)

(女性 62名)

## □かくじ広場・駅前広場クリーン作戦

先月号でお知らせした、10月18日(水)「シルバーの日」のクリーン作戦にすでに申し込まれた方は、忘れずに参加しましょう。まだ、申し込みされていない方、あるいは申し込みを忘れていた方は、直ぐに申し込んでください。申し込みの締め切りが12日(木)までとなっていますので、お誘い合わせのうえ参加くださるようお願いいたします。

## □「第27回黒石りんごまつり」 in シルバーフェア 2017

11月18日(土)、19日(日)開催予定の「黒石りんごまつり」にシルバー人材センターでも会場にブースを設け「シルバーフェア 2017」を開催します。シルバー人材センターをPRするため、会員皆さんの就業写真や活動状況の掲載、チラシ配布やシルバークイズを出題し普及啓発に努めます。また、会員みなさんの手作りによる作品や自慢できるお宝等を展示し、ブースを盛り上げたいと思いますので展示作品について募集をいたします。なお、展示スペースに限りがあるため、数や大きさについて調整が必要となることから、まずは事務局へご連絡くださるようお願いいたします。

## □雪囲い・除雪作業従事者募集

これから忙しくなる雪囲いと除雪作業に従事できる方を募集します。雪囲い作業は、材料の運搬や縄結び、杭や板打ち等の作業になります。除雪作業では、ブルが置いて行った雪の片付けや玄関先までの通路を確保するための除雪と範囲が決まっている作業になります。こちらは、市から委託を受ける予定の「高齢者世帯除雪作業」で、1回当りの作業時間も1時間程度と決まっていることから、男女問わず募集いたします。

冬期間の就業は限定されることから、希望職種ではないものの就業できる方、またはやってみたい方は事務局へお知らせください。

## □理事長のつぶやき ～仲秋の名月に思う～

去る10月4日は仲秋の名月“十五夜”だったが、雨が降って見られないだろうと思っていた。それでも夜の帳が下りる午後5時前に、近くの川原の土手ですすきを摘み、自宅の庭の花と一緒に花瓶に入れ、林檎や梨、桃、葡萄、栗、枝豆、とうもろこし等秋の味覚、おはぎやお菓子、そして神酒を供えて手を合わせたが、残念ながらお月見はできなかった。

話は変わるが、その日の朝家族で食卓を囲んでいた時、ひよんな事で感情的になって大声を出してしまい、その日一日は天気のようにはっきりせず、心が晴れなかった。話を要約すると、家族の体を心配して言ったことが、「同じ話を何回も聞きたくねじゃ」と言われたことにカチンと来て、ついつい声を荒げてしまったのだ。

人間誰でも自分が言っていること、やろうとしていることは正しいと思っている人が圧倒的に多く、忙しきにかまけて立ち止まって考える人は少ないようである。どんな時でも、相手の立場になって行動すればいいのだが、最初から正当化してしまい、相手が何を考えているのか知ろうとする心配りもなく、接している自分がいた。

私の場合、対象となるのが大抵カミさんになってしまう事が多く、大きい声の出し合い、こうなるとまるで子供の喧嘩と同じで、ただ感情的になるため、売り言葉に買い言葉になってしまい、数分して心が静まると、何と愚かなことであろうといつも思うのである。

もし、見方を変えることができたなら、声も大きくならずに済むし、何よりも「良かった」と思える事になったと考えると、その時の言動は反省以外の何ものでもない……。ごめんね。

話は“十五夜”に戻るが、十五夜について調べてみた。旧暦の7・8・9月の真ん中に当たる8月を仲秋と言い、都市では名月観賞を行う所がある。農村では稲の収穫儀礼として月見団子を作り、神酒やすすきを供えるほか、南九州地方では綱引きをしたり、芋名月と称して芋を供える所もあるようだ。

今回は、神々しい月を見ることはできなかったが、満月のような角ばっていない丸い寛容の心があれば、争いなんかないのになあと思う秋の夜長の一コマでした。

因みに、満月は拝めなかったが、4日の午後6時35分、八甲田上空の雲の切れ間からボンヤリ覗いた気はするが……。

発行 公益社団法人黒石市シルバー人材センター

〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1

TEL 0172-52-5131

緊急連絡先 080-6011-5131